



議 会 報 告 第 13 号

(ホームページもご覧下さい <http://www.ojima-shinichi.com/>)

筑西市下野殿 801-1 TEL0296 (24) 8951

市議会議員 小島 信一

6 月定例会より 報告 (26 年第 2 回定例会)

26 年 7 月 10 日発行

新中核病院の行方

3月議会以降、あまり進展がみられない新中核病院ですが、新たな情報がありました。

———今後のスケジュール———

建設推進協議会の協議 : 専門的見地から新中核病院の経営形態、医師確保策、建設場所、更に詳細計画(地域の医療機関との分担、外来・救急・手術計画、医療設備、医療情報システム、財政計画)を27年2月までにまとめる。
設計作業: 27年4月から19か月間。完成は28年度中。
建築工事 : 28年年末から工期は22ヵ月間。
病院完成 : 平成30年秋を見込んでいる。

———重要事項———

2公立病院の病床再編計画 : 127床を県西総合病院から譲り受ける計画は、県医療審議会の諮問・答申、厚生労働省の同意があれば実現。

建設推進協議会のメンバー : 関連医科大学、真壁医師会公立2病院、医療関係有識者、自治会連合、市民団体、筑西市議会議員、茨城県担当者。

県の役割 : 交付金の延長のお願い。さらに、病床再編計画において、県医療審議会の諮問・答申を経ることになっていますので、県の支援は必要です。

建設場所 : 建設推進協議会で選定。有力情報なし。



本庁舎はスピカビルへ移転

大変重要な議案でしたが本庁舎はスピカビルへ移転することになりました。スピカビルは、市役所と商業施設の複合ビルとなります。完成予定は2年後。

- 1階 行政フロアー 市民課 諸施設(*)
- 2階 行政フロアー 税務、環境、福祉、健康増進、会計
- 3階 行政フロアー 市長公室、経済、土木、上下水、
- 4階 行政フロアー 総務、企画、教育、議会関係、
- 5階 民間、商業フロアー、
- 6階 商工会議所 市議会議場

(*) 諸施設

- 憩いの広場 展示スペース おもてなしスペース
- チャレンジショップ 喫茶売店
- 地下1階 多目的フロアー イベントや多様な活動空間
- ギャラリー、ポケットパーク



前ページより続く

移転議案は 15 対 7 で可決——論争決着

この議案は、議長を含めた全議員の 3 分の 2 すなわち 15 票以上が必要でした。結果はぎりぎりの可決です。私はこれまで主張した通り、反対票を投じましたが移転賛成派が勝ちました。大論争は決着しました。

より良い本庁舎のための課題

筑西市民のほとんどは、自動車で来庁します。職員を含めると、1 日 1000 人以上の出入りがあります。第 1 に自動車のアクセス 第 2 に駐車場の改良改修です。南部方面からの来庁者にとって、北口駅前への到達は不便。また、一般市民にとって、立体駐車場は苦手です。出入口の改良、逆走防止、体の不自由な方・高齢者（どなたもそうなります）対策は欠かせません。

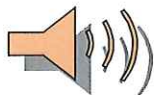
費用は 16 億円で大丈夫か

執行部の説明では移転費用はビル改修で 13 億円その他に 3 億円というものですが、他市の例と比べ、圧倒的に小さい金額です。石巻市約 30 億円、栃木市 34 億円（土地・駐車場代別）、土浦市約 50 億円。積算に甘さがないか心配です。

広大な跡地の利用計画

移転が実現すれば、旧市民会館跡地を含めると 1.8ha（18000 m²）の空き地が市の中心部に出現します。具体的な利用計画、将来像はこれから検討するようです。しかし、スピカビルの駐車場の容量、市職員の人数、予想来庁者数を考慮すると、跡地をそのまま平面駐車場にすべきです。

トピックス



新教育長承認 : 赤荻利夫氏 68 歳

赤荻氏は下館南中や下館中の校長を歴任し、昨年 3 月まで「いばらき学校経営研究会」会長。

映画「十字架」への助成金 : 500 万円可決

筑西市を舞台に、中学校のいじめと自殺をテーマにした映画です。市民がオーディションで出演します。

消防団員の退職金増額 : 入団希望者難に対応 5 年在籍平団員・・・約 20 万円

10 年在籍分団長・・・31 万 8 千円

20 年在籍本部員・・・51 万 3 千円

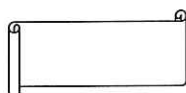
はぐくみ医療とマル福制度の改正

県のマル福制度が改正され、市のはぐくみ医療費予算が楽になりました。新たな制度拡充が可能です。

公共施設等総合管理事業 に予算

国からの業務委託事業ですが、筑西市が応募の末選定されました。担当職員の殊勲です。

一般質問



企業誘致について---

質問：市長直属の企業誘致推進課を設置した狙いは？

市長：人口減少対策には雇用確保・企業誘致であり、これは迅速な対応が求められる。そのための体制。

質問：今年度の市長の目標は？

副市長：既存工業団地内の未利用地の活用、新たな工業団地適地の調査事業。また、6 次産業を睨んだ農業、バイオ関連産業も視野に入れる。

質問：企業誘致に関して我が筑西市の競争力は？

副市長：北関東自動車道、圏央道利用圏であり、日野自動車古河工場と筑西幹線道で通じる優位性がある。

質問：筑西市の企業誘致上の障害・課題は？

副市長：特に障害はない。土地利用の規制は必要。現在ある潜在力で進めていく。

教育問題について---

質問：現在教育委員会改革が議論されている。現在の教育行政の執行は独立した教育委員会とされているが教育長はこの独立性を維持すべきと考えるか、それとも市長が執行すべき考えるか

教育長：この改革により、予算は市長、教育課程の編成、教科書の採択等は教育委員会といった権限の分け方がはっきりしてきた。

質問：年度末から実施した教育の集いで少子化と学校の適正配置の話があった。これまで慎重姿勢だった小学校の統合、小中一貫教育について積極姿勢に変わるのか？

教育長：小学校の統合と小中一貫は切り離せないし現状は進めざるを得ない状況。学校現場と話し合いを始める段階。時期については即答できない。